

vol.
30

サポセンニュースレター 2023年梅花号



p2-3
 特集
 サポセンの設置検討から
 20年を迎えて
 当時から今、
 これからを語る Part2

p4-5 [サポセンの事業報告]

- まつどみらいカイギ 2022
- まちづくりキーパーソン養成講座 2022

p6 [ある日のサポセン]

労働者協同組合って？

p7 [チャレンジャー]

グローバルコミュニティーまつど

p7 サポセン新規届出団体

p8 [スタッフコラム]

雇われない働きかた



サポセン
メルマガ登録はこちら！
<https://bit.ly/3gf0dh6>



まつど市民活動
サポートセンター

<http://www.matsudo-sc.com/>

特集

サポセンの設置検討から 20年を迎えて 当時から今、これからの語る

Part 2

今号の特集もぼっく28号に続き、サポセンの
今回のゲストお二人はまちづくり、環境の分野で
これからの松戸の市民活動にとっても
20年を振り返るインタビューです。
多大なる貢献をされてきた大ベテランです。
大切なキーワードをたくさん伺いました。



トキサイにて



コスモスの種まき (フラワーライン)



学生と一緒に着物のリメイク



松戸神社脇で
水質調査

大きな声を出すのではなく
小さな声を集めていくことが
結果として大きな力に!



中岡文恵さん
(着物などのリメイクを楽しみながら活動しています。)

中岡さんが取り組まれてきた活動について教えてください。

1980年頃から河川や手賀沼の汚染について活動を開始しました。当時は松戸駅近くを流れている坂川の汚れがひどくて、ヘドロが固まっている所は川の上を歩けるほどでした。その汚れの8割は家庭から出ているということを市民の多くが気づいていなかったのです。まずは広く知ってもらうことが大切にしていました。
そういった活動から、1983年に手賀沼せつけん工場の立ち上げを行い、廃油を回収して環境にやさしいせっけんに加工する取り組みを始めました。全国でも同様の課題が起きていて、全国で延べ353カ所回ってせっけんづくりの指導をしました。

活動をはじめた頃の市民活動はどのような様子でしたか?

当時は行政が市民活動に対してとても警戒している雰囲気があったので、なかなか関係を作ることが難しかったです。なので、まずは市民の声を聞いてもらうことから始めました。でも活動が集まる場所もなく困っていました。その中でサポセンの立ち上げの話があったので、期待を持って関わることになりました。ですがいざ使ってみようとなると、建物自体が10年使われていなくて、どこもかしこもホコリだらけで、壁を触るだけで汚れるほどでした。まずはみんなが使えるようにするために、私も娘と一緒に掃除をしたのが思い出です。



咲き誇るコスモス (フラワーライン)

20年前の検討委員会で考えていたサポセンの理想像はどんなものでしたか?

とにかく集まれる場所が欲しかった。特に、私たちのようにまちづくりをしている人たちが集まって情報交換したり一緒に何かできる場所。なるべく行政にしばらくられないように、公平で誰にでも開かれた場所を目指していましたね。ハードの面でもソフトの面でもサポセンの設置は嬉しかったです。

サポセンが出来たことで実現したと思うことはありますか?

サポセンで育てられた人がいっぱいいると思います。マンネリ化はあるかもしれないけれど、理想に立ち返ることもちゃんとできていて、行ったり来たりしながらも相当な距離を歩んできてきていると感じます。たくさんの方の出会いと新しい物事を生み出して、ちゃんと機能しています。

今のサポセンを見ていてどんな場所になっていると感じますか?

市民活動に新しい人が入りやすい柔らかさが生まれたよね。遊びがてら来た人たちがどんどん入って輪が広がっている感じ。いろんな役割の人がいるのが市民活動の良さだけれど、そういう意味でサポセンはいい場所だと思います。サポセンに限らず松戸市って、その良さにみんなが気づかないくらい自然に享受できる環境が揃っていますよね。

立ち上げ時サポセンにはどのようなことを期待していましたか?

それぞれの思っていることを形にできる場所、地域の人たちとつながれるような場所になったらいいなと思っていました。その中で、部屋の使い方を検討しているときに「作業室」が固定の机で使いづらいということがあり、自分自身が何ができるかと考えてそこで着物のリメイクの活動を始めました。開いてみると50人以上が集まってしまって、3回に分けて教室を開いていました。

これからのサポセンに期待することはありますか?

次の世代が生まれていくことが大事。もっと若い人たちに担ってほしいです。
市民活動は行政を攻撃するのではなく、一緒に行動する人として働きかけていくことが大切だと思います。まずは自分たちが旗を立てていくことが大切。大きな声を出すのではなく、小さい声を集めていくことが結果として大きな力になると考えています。サポセンもそういう拠点になるといいですね。

松戸の市民活動の歴史を

描いてきたお二人のお話を通じて、「自分たちが必要だと思うこと」をいかに周りの仲間を楽しく巻き込んでいけるかが大事だということを感じました。これまでのバトンを自分たちなりに受け取り、活動に活かしていきたいですね。

サポセンに遊びがてら来た人たちが
どんどん入って
輪が広がっている感じ!



榎本孝芳さん
(特定非営利活動法人
クリエイティブまつど工房 代表)

榎本さんが取り組まれてきた活動について教えてください。

今日も「江戸川フラワーライン」の種まきをしてきたのですが、この活動も28年目になります。松戸における協働のまちづくりの原点やシンボルの活動でしょう。江戸川の活動に続いて「まちづくり連絡協議会」の立ち上げや常盤平団地での「トキサイ」「常盤アートライン」なども行いましたが、どの活動も市民主体で目標に向かってきた実践あるのみ、と思ってやってきました。砂漠に水を撒いている気分になったこともありましたが、長くやっている手や力を貸してくれる人が増えていきます。
今はもう、眉間に皺を寄せて活動する時代じゃないです。柔らかく遊び感覚をうまく入れながら、まちづくりなんて考えていなかった人たちが家族単位で巻き込んでつなげていきたいと思います。

これからのサポセンに期待することはありますか?

市民活動を「課題の解決」みたいに堅い言い方しないで、なんだかみんなが集まってワイワイガヤガヤ楽しくしているうちに、知恵が出てきてなんだか良い方向に行ってしまう、みたいな流れがいいし本来の形じゃないでしょうか。楽しくやっていって松戸のまちにも誇りと愛着が湧きますよね。サポセンには、たまにしか参加しない人も心地よく楽しめるような人間関係や組織の作り方を打ち出してほしいと思います。



2022年12月10日(土)実施
まつどみらいカイギ2022

「まつどみらいカイギ」は、自分たちが実現したい新しい暮らしを生み出す対話イベントです。事前に募集したプレゼンター6人による発表の後、それぞれの参加者が共感したり、気になるテーマを選んで語り合いました。

コロナ禍でオンライン開催が続いていましたが、本年度から、会場参加を基本とした開催に戻すことができ、リアル参加84名・オンライン視聴27名の皆さんとまつどの新しい暮らしや地域について語り合いました。また市民活動をしている21団体のパネル掲示も再開でき、皆さんの想いが交差する濃い一日となりました。現在、共感がたくさん集まった3グループを、「みらいカイギプロジェクト」として、アイデア実現に向けてサポセンが伴走しています。

投票が一番共感を集めたプロジェクト



不登校の子どもたちが笑顔になれる居場所をつくる

プレゼンター：海老原千紘さん

子育て親のゆとり支援サービス
まつど地域DE子育て+プラス
～ゆとり・にっこり～



障害のある人、ひきこもりの人、健全者も笑顔で働ける場所を作りたい



当日の実施報告やグラフィックレコーディングの記録はこちら!



特設サイト
http://www.matsudo-sc.com/works/miraikaigi2022

リアル参加84名・オンライン視聴27名!



持続可能なボランティア社会実現



にいたる交流会を作りたい!!



対話を見える化する「グラフィックレコーディング」が今回大活躍!



障がい者が楽しく働けるオーガニックぼう園 / 地域のコミュニティを活性化させる 彩りマルシェ・ワインセミナー



2022年11月12日(土)・11月26日(土)・12月17日(土)実施
まちづくりキーパーソン養成講座2022
「人が出会う場づくりを学ぶ」

松戸の暮らしづくりに関わるキーパーソンを増やすことを目的として、連続講座を3回開催しました。今年のテーマは「人が出会う場づくり」。

第2回・第3回は実際に市内で実践されている事例を見学しながらお話を聞いていきました。

第1回は当センター長から「居場所と場」について、なぜそれらが求められるようになってきたのか。サードプレイスや縁側といったキーワードを元に、概論をお伝えしていきました。その後第2回で訪問する場の実践者でもあり、当センターのコーディネーターでもある松村さんから、活動の紹介をしてもらいました。

第3回(12/17)
@つながる古民家 隠居屋 IN kyo-Ya

第3回は南花島にある「つながる古民家 隠居屋 IN kyo-Ya」に行ってきました。ここは、ぼくく第14号でも紹介した場所です。築100年を超える古民家を改装し、素敵なコミュニティスペースになっています。今では老若男女が集まる多世代食堂をはじめ、クラフト広場など年齢を問わず関わり合える企画が行われています。



第2回(11/26)
@鉄塔の下の倉庫

第2回は六実にある「鉄塔の下の倉庫」へ。元々使われていなかった空き倉庫を地域で何か使えないかと考えたオーナーと、たまたま縁があって出会った松村さんがおしゃべりの中で小さく一つずつ活動を重ねてきた場所とのことでした。今ではシニア向けの体操教室の他、スマホ相談室や多世代が集まるイベントなど、地域の拠り所になりつつあります。オーナーにその秘訣を聞いたところ「私が楽しいと思うことをやっているだけなのよ。そして次々新しい出会いがあって、毎日嬉しいですね」と教えてくれました。



参加者の中には、これから場づくりをしていきたいと考えている方や、里山を使って人が集まれる機会を計画している方などがいて、これから新しい「場」が生まれることがとても楽しみになる講座でした。



雇われない働きかた



まつど市民活動サポートセンター 副センター長 山崎 恵

私のサポセン歴は2004年に始まる。(なんともう20年近くになる！)

当初NPO法人の立ち上げに関わりサポセン運営に携わり、諸事情により2009年頃一旦離れたことがあった。

その時に「働くをつくる、雇われない働き方」という言葉にふとひかれて、関わったのが、ワーカーズコレクティブ(以後ワーカーズの組織運営だった。雇われないで働く、という自分のスキルを活かして開業して...、というのを思い浮かべるが、どうやら一人ではやりきれなくなってやるものではないらしい、と知ったからだ。

ワーカーズは1980年代に生まれた仕組み。地域に必要な活動(仕事)をしようと思つたときに、経営者を立て雇用されて働くのではなく、一人ひとりが出資者で経営者、そして働くのも自分たち。賃金やシフトやお互い役割分担をして、事業を実施していく。

一般に、労働は経営者と雇用契約を結びこゝとで成立する。労働者は、お金を対価に労働を提供、経営へ口出しをする機会はほぼなく、経営者と労働者は一線を画す。労働に関する法令はそれが前提でできている。

実は...これって、非営利組織を運営するうえで、とても大事なことで、と常に頭の片隅に残っている。今でも会うと昔話では終わらず、今度こんな事業を考えてるんだけど...と刺激される、かけがえのない仲間である。

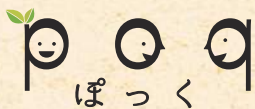


つい最近まで、ワーカーズで働く人たちがしっくりくる法人格の根拠法がなく、非営利重視でNPO法人、収益事業が前提なら企業組合、のどちらかを選ぶことが多かった。そこで、ワーカーズやワーカーズコープ(労働組合)などの労働者組織が声を上げて制定にこぎつけ、令和4年10月施行したのが「労働者協同組合法(ワーカーズ法)」である。

私が属した組織は企業組合法人で、15名ほどで運営をしていた。

代表は仕切り上手な経営手腕をもつ同年代女性のAさん。Aさんのワーマンな組織ではないか(ワーカーズではない)と指摘する外部もいたが、「全員が経営状態を把握しつつ、お互いのできることを目指しつつ、運営がスムーズに回るように、一人ひとり考え行動すること」を大事に、組織運営を進めてきた。Aさんは事業推進力を発揮、私は事務処理担当、他のスタッフも、場を和ませたり、コミュニケーション力が高かったり。休まずこなすことも重要な要素で一人ひとりが大事な構成メンバーだった。

サポセンニュースレター



第30号(2023年梅花号)

発行日: 2023年2月28日

(※年4回発行)

発行元: まつど市民活動サポートセンター (指定管理者 NPO法人まつど NPO協議会)

「ぼっく」の主な設置場所

松戸市内の図書館、市民センター、公民館など各種公共施設の他、松戸駅などに設置しています。

「ぼっく」設置協力店

Sampo Café(八ヶ崎7丁目)

子育てつながるセンター co-no-mi (本町13-27)

松戸観光案内所(本町7-3)

やしま商店(本町6-3)

隠居屋 IN kyo-Ya(南花島中町196)

はれの日サロン(常盤平3-11-1 西友常盤平店5階)

いわぼんホール(岩瀬38)

さんさん カフェ(仲井町2-6-4)

omusubi 不動産 (総台1-21-1 あかぎハイツ 112)

Coworking Space Flat Café & Bar (新松戸3-289)

昭和セレモニー松戸・矢切・北小金儀式殿 (千駄堀620-1・栗山19-4・殿平賀75-2)

松戸スタートアップオフィス (松戸1307-1 松戸ビル13F)

みんなの居場所そらいろ House ふらここ (五香4-53-1-101)

まちかどアトリエ Neiro (松戸1117 ビラ松濤2F C号室)

「ぼっく」の配架にご協力いただけるお店・施設を募集します!

ニュースレター「ぼっく」を、お店や施設に配架していただけませんか? ご協力いただいたお店・施設は、この欄で名称・所在地等をご紹介します。もちろん、無料でお届けし、部数もご要望に応じます。詳しくは、まつど市民活動サポートセンターまで、お電話・メール等でお気軽にお問い合わせください。

まつど市民活動サポートセンター

〒271-0094 松戸市上矢切 299-1(総合福祉会館内)
TEL: 047-365-5522 FAX: 047-365-5636
E-mail: hai_saposen@matsudo-sc.com
URL: http://www.matsudo-sc.com/
facebook: https://www.facebook.com/matsudo.sc

開館時間
月~土: 9時~21時
日: 9時~17時
休館日
第1・第3水曜、
年末年始
(12/29~1/3)



※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、施設利用に制限がある場合があります。詳細はサポセンホームページをご覧ください。

編集後記

今年の冬は一度大寒波が来たくらいで、寒さ穏やかな年でした。雪もほぼ降らずほっとしましたが、農作物への影響などは...?と考えてしまいますね(さ)

労働者協同組合って？

10月1日に施行された「労働者協同組合法」によって、非営利法人の一部として明記されるようになった「労働者協同組合」についてご紹介します！



労働者協同組合って？

共通の目的を持った人同士が自分たちで出資金を出し合い、「組合員」となって事業を利用し、運営に関わっている団体のこと。

労働者協同組合が法整備された目的は？

地域に貢献しようと取り組む人々が、もっと自由に柔軟に働ける状況を実現するため。

どんな事業が労働者協同組合に向いているの？

例えば、厚生労働省のホームページでは、事業の例として3つが挙げられています。

- 1 介護・福祉関連（訪問介護等）
- 2 子育て関連（学童保育等）
- 3 地域作り関連（農産物加工品販売所等の拠点整備等）

★その他の事業を実施している組合もあります（労働者派遣事業を除く）。

主体的かつ自由度の高い働き方ができる、自治体と連携した事業もいろいろ：等のメリットがあるといわれています。生協（生活協同組合）が運営している大学生協や、地域によっては生協のスーパーマーケットにお世話になった方もいらっしゃるのではないのでしょうか。



これまでは企業組合やNPO法人などの形態をとって運営されていましたが、設立手続きの煩雑であったり、法人格によっては行いたい事業に対する制限があったり、働く人たちの法的な位置づけが不明瞭：といった難しさがありました。今回の法整備は地域に貢献しようとする事業に取り組む人々がもっと自由に柔軟に働ける状況を実現することを目的としています。



ちなみに…
法施行日から**3年以内**であれば、NPO法人から労働者協同組合に組織変更を行うことも可能です。



もっと詳細が知りたい！という方は…



「知りたい！労働者協同組合法」
<https://www.roukyouhou.mhlw.go.jp/>
厚生労働省 ホームページ



「はたらくことは、生きること
～労働者協同組合法が成立しました」
<https://www.youtube.com/watch?v=M-bu925-zA0&t=38s>
ワーカーズコープ連合会 Youtubeチャンネル



CHALLENGER

チャレンジャー 市民活動団体紹介

グローバル コミュニティ まつど



お問合せ
Facebook: <https://www.facebook.com/groups/458544745994125>
E-mail: globalcommunitymatsudo@gmail.com



サルサが得意な仲間（「ゴザウ」ベトナム語で女の先生という意味）のサルサレッスン



中国出身の仲間が作ったロゴ・チラシ

松戸市に住む色々な国・地域、文化を持つ人たちが作るグローバルコミュニティ。

外国人も日本人も色々なルーツを持つ人も、大人も子どもも、誰でも仲良く楽しく生き生きと過ごせる松戸にしたい。外国人、いわゆるマイノリティーといわれる人が活躍でき、住みやすい街は、きっと誰にとっても住みやすい街になるのではないかと考えています。みんなの得意をシェアしながら学び合うイベントを参加者全員で企画、実行をする。それぞれのやりたいことをそれぞれの温度感で考え、活動をしている団体です。

ワイワイできるイベントや若者の進路支援などを月1ペースで開催。

2021年12月、現松戸市国際推進課主催の運動会で出会った仲間と「ボードゲームしたいね」と連絡先を交換しあったのがこのグループの始まりです。月1回のペースで月ごとの担当チームがイベントを計画し、開催しています。みんなワイワイできるイベントから、海外ルーツをもつ若者の進路支援など、他団体とのコラボ企画も開催しました。帰国や転勤などで松戸を去った仲間もいますが、今後は国境も超えてつながりをもち続けられるように、オンラインゲームイベントなども予定しています。

※新松戸みんなであつくるスポーツ国際&地域交流会

松戸市内に限らず外国ルーツを持つ方々の支援や国際交流活動をしている団体と協力をしながら、参加するみんながゆるく楽しめる活動の幅を広げていきたいです。



夏のBBQ



出身国の料理教室（パナマ料理・水餃子）

NEW REGISTRATION



サポセン 新規届出団体 を紹介します！

- ホビークラブ ■シルバーグレース合唱団 ■NPO法人千葉言友会 松戸支部
- 野田ブレイブス中地 ■ITアシスト・オンデマンド ■一般社団法人すばる
- Dorothy フラワーサークル ■松戸フェンシング同好会 ■NPO法人おむすび
- 浅間台短歌会 ■EdFuture ■波島会 ■東葛ねぶた囃子会 ■八ヶ崎第三町会
- NPO法人リバイバル ■中矢切町会 ■福祉ネイルMTD ■えがおのかい ■矢切剣友会
- やきり子育てカフェ つむぎ ■幸谷町会 ■サスティナブルな市民活動研究所
- 牧の原ジュニアーズ ■墨彩会 ■特定非営利活動法人エンリッチ
- 子育て+プラスゆとりっこり ■富士自治会 ■松戸スラガーズ

2022年9月1日～2023年2月28日（届出順・敬称略）